

KANAGAWA

# 看護 だより

Vol.200  
2021年9月

令和3年度  
会員数 36,919人  
(令和3年8月2日現在)



公益社団法人

神奈川県看護協会

〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1

神奈川県総合医療会館内

TEL.045-263-2901(代) FAX.045-263-2905

<https://www.kana-kango.or.jp/>

## 事務局

職員一同がんばっています！



## 理事会風景



## ナースセンター



ジョーさん

ナースセンター職員



りつくん

めいちゃん

## ファーストレベル 開校式



## 災害対策本部〈訓練〉



会員施設との合同防災通信訓練

令和2年  
台風20号災害対策本部



## 発送作業

毎月の一斉発送風景



新人ジョーさん

今月の  
表紙

公益社団法人  
神奈川県看護協会

→施設の紹介は24ページに掲載しています

## Contents

- 「200号記念」会長挨拶…………… 2
- 「200号記念」歴代広報出版委員長ご挨拶…………… 3
- 「200号記念」広報出版委員会 取材のあゆみ… 4～5
- 特集「これからの時代の看護」…………… 6～7
- 令和3年度 通常総会開催報告・新会長挨拶 …… 8
- 令和3年度 役員紹介 委員名簿 …… 8～9
- 令和2年度 事業報告 …… 10～17
- 令和2年度 決算報告 …… 18～22
- ホームページリニューアル紹介…………… 23
- こんにちは事務局です／表紙の写真／編集後記… 24

200号  
記念

# KANAGAWA看護だより 発刊200号に寄せて



公益社団法人神奈川県看護協会会長 長野 広敬

200号記念という節目の年を皆様と一緒に迎えることが出来ましたことを大変嬉しく思っております。これもひとえに広報委員会はもとより記事掲載にご協力いただいた皆様、そして関心をもって読んでいただいている会員の皆様のおかげによるものと深く感謝申し上げます。「KANAGAWA 看護だより」の歴史は昭和57年に遡ります。当時の大谷昌美支部長が職能団体の組織化と機関誌の発行に取り組まれ「支部だより」として産声を上げた記録に残っております。その後、昭和60年に社団法人神奈川県看護協会として認可されたことで、広報誌の名称も「支部だより」から「かながわ看護だより」にリニューアルし年6回へと増刊されました。さらに平成10年度には「KANAGAWA 看護だより」と名称を変え現在に至ります。このような歴史を経て広報出版委員会は、会員みなさまに神奈川県看護協会の事業をタイムリーに伝える場として、また会員相互の情報共有の場として会員みなさまに役立つ紙面づくりに心がけて参りました。年6回発行される掲載内容は、読者モニターアンケート結果などを参考に月1回の定例会において、企画、執筆交渉、取材、原稿執筆、校正などを10名の委員が熟考の上で編集しております。

最後になりましたが、この場をお借りしまして、広報出版委員活動に参加されている委員の皆様方と所属される施設のご理解とご支援を心から感謝申し上げます。



200号  
記念

# 歴代委員長よりご挨拶

Greetings from successive chairpersons



神奈川県小田原保健福祉事務所  
足柄上センター  
保健予防課長  
**内山 純子**  
(就任期間：2008～2009)

広報委員会の活動はとても楽しかったです。その思い出や広報への想いを短文にしてみました。

### 【広報短歌】

「師長とは知らずタメ口 いていた みんなおなじ 広報委員」  
「保助看の 仲間で作る 広報誌 練れば出る出る 保助看あるある」  
「もらったら まずは知人の 名と写真 探して読むと 思いませんか」  
「何ことも すぐにググれる この時代 何を選んで どう伝えるか」  
「次号には 何を載せるか 載せないか その選択が 歴史を創る」  
「ガリ版の 手書き時代の 温もりを 知らぬ世代に 伝えたいこと」

ガリ版で広報誌を作った訳ではありません。あくまでイメージです。え、ガリ版を知らない？……ググってみてください(笑)。昭和は遠くなりにはけり。



独立行政法人神奈川県立病院機構  
神奈川県立こども医療センター  
看護科長  
**柿澤 文子**  
(就任期間：2018～2019)

「KANAGAWA 看護だより」200号発刊おめでとうございます！

わたしは、2015年6月から広報委員として、2018年からは、ひよんなことから委員長を拝命し2年間、看護だよりに携わらせていただきました。

毎号、記事をなにするか検討している間にも、仕事の悩みやグチ、世間の話題やプライベートのこと(笑)を語り合い、楽しかったことを思い出します。様々な医療現場を取材しながら、第2・第3の人生を夢に描き、浮足立って記事を書いていました。

新型コロナウイルスにより1回目の緊急事態宣言が発令され、委員会活動ができなくなりましたが、看護協会の皆様のお力で無事に休刊することなく発行できたことに感動しました。

これからも一読者として看護だよりのファンです。わたしも300号まで頑張ります。



公立大学法人  
横浜市立大学附属病院  
副看護部長  
**館脇 美由紀**  
(就任期間：2016～2017)

看護協会が公益社団法人に移行する前年に広報委員を拝命し、3期6年間委員を務めさせていただきました。月に1度の委員会では、看護職に向けた記事だけではなく、県民の皆様にも役立つ情報を探して、熱く意見を交わっていたことを思い出します。様々な分野で活躍されている看護職から直接話を伺おうと、現地取材を企画したこともありました。会員の皆様に情報を伝えるだけではなく、何か還元できることはないかと考え、始まったのがお年玉プレゼント企画でした。応募の際に「看護だよりを通じて同級生の活躍を知った」「かつての同僚を見つけ連絡を取り合った」などのコメントをいただき、看護だよりが看護職間の交流にも役立っていることを知り、励みになりました。看護だよりが、これからも看護職の皆様のお役に立ち300号を迎えられますよう、私も一読者として応援しております。



独立行政法人労働者健康安全機構  
医療企画部看護課  
看護課長  
**坂本 宏子**  
(就任期間：2020～2021)

「KANAGAWA 看護だより」200号発刊おめでとうございます。記念すべき200号の発刊に携われたことを、とても光栄に感じています。

広報委員会の活動は「KANAGAWA 看護だより」の創刊に関する活動をしています。昨年、新型コロナウイルスの感染拡大により、多くのイベントや研修、会議が中止せざるを得なくなりました。同じく、委員会の開催もできなくなる状況がありました。そのような時も、楽しみにしている方がいる、こんな時にこそ楽しい話題を提供したい、新型コロナウイルス感染に関する情報を共有する機会になる等の理由から「KANAGAWA 看護だより」の発行は継続することになりました。集まる委員会は開催できなくても、インターネットを活用して委員仲間とやり取りをして、さまざまな方の協力があって、発行を続けることができました。

今後も、役立つ、楽しい情報を発信し続けてください。楽しみにしています。



特集

# 広報委員会 取材のあゆみ



「問題を対話で解決する医療コンフリクトマネジメント」  
北里大学病院 医療安全管理室 取材  
2009年5月（第126号）



「住み慣れた地域での暮らしを支える」  
複合型サービスふくふく寺前 取材  
2015年3月（第161号）



「動物介在療法ってご存じですか？勤務犬ミカの活躍」  
聖マリアンナ医科大学附属研究所 取材  
2016年9月（第170号）



「認知症患者専門病院」  
かわさき記念病院 取材  
2018年7月（第181号）



「看多機」の取り組み  
訪問看護ステーションゆらりん 取材  
2019年7月（第187号）



「テルモメディカルプラネックス」  
テルモメディカルプラネックス 取材  
2020年7月（第193号）

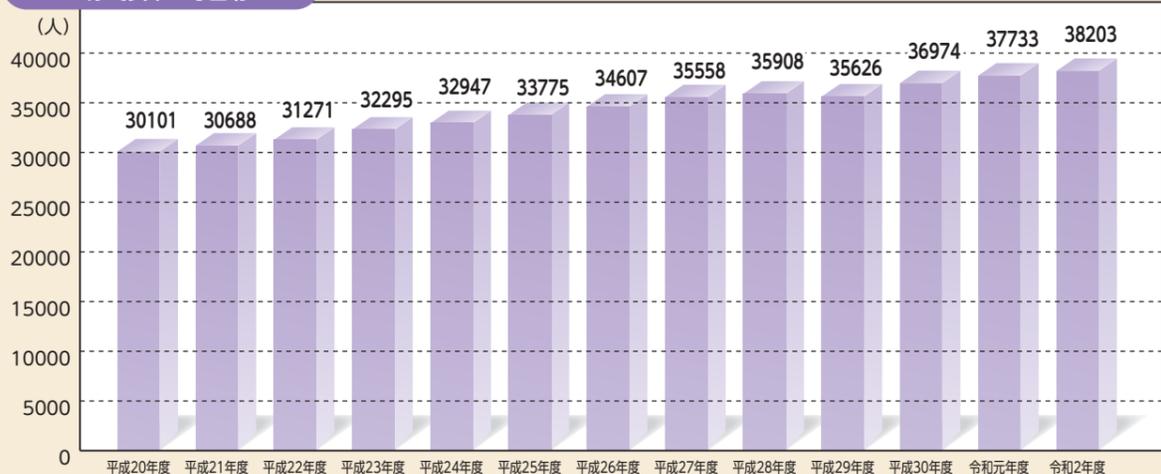


「災害支援ナースに訊く！」  
災害支援ナース座談会 取材  
2020年7・9月（第193・194号）



「災害を知る、感じる、行動する！」  
神奈川県総合防災センター 取材  
2021年5月（第198号）

## 会員数の推移



## 広報委員の活動



広報出版委員会研修  
「魅力的な広報誌を作ろう」  
(2019年11月)



# 「これからの時代の看護」



聖マリアンナ医科大学病院  
看護師長 神山 明子  
(勤務犬モリスと共に)

## はじめに

総務省2019年の報告では、2010年に約4%であったスマートフォン保有率が、2019年には世帯において80%を超えました。新たな技術がさらに技術を進化させると言われており、驚くほどのスピードで環境が変化しています。内閣府では、目指すべき未来社会の姿として、「経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)」 Society5.0が提唱されています。医療・ヘルスケア領域では、AI (Artificial Intelligence) やロボットを活用し、快適な生活、健康促進、病気の早期発見、医療費・社会的コストの削減、医療現場での負担軽減をめざしています。

## 聖マリアンナ医科大学病院の取り組み

当院では創立50周年事業として、病院・大学全体のリ

ニューアルに向け ICT (Information and Communication Technology) 活用を進めています。全データ電子化ペーパーレス (フルデジタルホスピス) を目指す医療情報システムの導入を決定し、5G・遠隔医療・ロボットの実証実験など様々な ICT プロジェクトが進行中です。

その中で、新たな価値創造を目指した企業との共創をする DHCC (デジタルヘルス共創センター) が設置されました。DHCC では院内外のデータを統合し、ヘルスケアプラットフォーム<sup>\*1</sup>を構築し、正確な医療情報に基づき患者、住民に対して個別に質の高いフィードバックする個別化医療の展開を目標としています。

当院では「ICT をフル活用し、常にしっかり見守ってくれる『馴染みの病院・医科大学』」を掲げ、AI、ICT 技術を駆使しながら、地域医療や対象者の気持ちにしっかり寄り添う病院を目指しています。(図1)

## アプリの導入

私は今年度より DHCC の一員となりました。看護師の視点、患者の立場から必要な機能を検討し、院内外の情報・機能を活用し、対象者の個別性を意識したフィードバックができるマリアンナアプリ (仮称) の開発支援に関わっています。病院には病気治療に関してだけでなく、食事、運動、各種保険などさまざまな情報があります。

マリアンナアプリでは、それら情報を地域に還元し、疾病予防、疾病の早期発見を目指し、医療費や介護費用など社会的コストの削減につなげたいと考えています。マリアンナアプリの利用者は、日々の自己健康管理、最適な生活支援情報が得られ、治療促進、症状悪化予防、健康寿命の延長をめざします。また病院を受診する際にもスマートフォン一つで予約、受付、効率的な検査案内、診察案内、会計など自動で行えるように開発しています。また、個別支援だけでなく、当院と地域の連携においても、相互に情報をフル活用し、入転院の促進、予防・治療の相互支援など、地域住民が自分らしく人生を全うできるヘルスプロモーション<sup>\*2</sup>する事を目標としています。

## AI 活用と看護職の役割

医療分野での AI 開発は世界各国で進んでいます。国内でも不穏予測、転倒予測など医療安全に関する AI や、看護師と患者の会話から、看護記録や看護必要度が入力されるなど、看護師の業務負担を軽減する AI も開発されています。当院でも、看護記録の音声入力、AI 問診システムの導入、ロボット介在療法の研究などが始まっています。

その中で看護の役割はどうでしょう。AI やロボットがあれば看護はできるのでしょうか。現在の AI では、異なった分野を新たに統合させて考えることが不可能であると言われています。

しかし、看護は対象者との相互作用であり、刻々と状況は変化し、その変化をさまざまな情報、知識を統合判断し、多職種と協働のもと看護を提供しています。AI やロボットは、ニーズの把握、意思決定支援の情報提供などの

一部は可能ですが、統合して質の高いケアが期待されています。AI やロボットをツールとして、看護の専門性に価値をおき、患者に提供されるケアサービスの効果を最大限にすることが必要になります。

今後、進化したヘルスプロモーション<sup>\*2</sup>により、人々の疾病構造が変わることで病院のみではなく、地域社会において治療に臨む人の増加が予測されます。看護職は対象者の理解者となり、望む生活実現のために支援していくことに変わりはありません。そして、さらなる技術開発が進む中で技術進化の一步先に行く看護を提供するために、医療だけでなく広い視野とアンテナを持ち、柔軟な思考で対象者に寄り添い、必要な支援を常に創造していくことが求められています。対象者に合わせ創造された尊厳あるケアや言葉かけは AI には困難で、対象者だけでなく看護職も幸せになる、そして地域、さらには社会を元気にしていくことにつながると考えます。

## 看護の本質

2020年には、ナイチンゲール生誕200年を迎えました。『看護覚え書』が出版され約170年が経過しましたが、現在でも日々の看護実践につながる視点・内容が古びることなく記載されています。医療の高度化、地球温暖化、AI の進化など、看護を取り巻く環境は大きく変化し、対象も役割も広がっていますが、看護の本質は変わっていないと感じています。ナイチンゲールは「看護がなすべきことは、自然が患者に働きかけるのにもっともよい状態に患者をおくこと」と述べています。変化している環境に合わせ、対象者が自分らしく人生を全うできる状態におけるよう支援することが看護であり、社会貢献につながると考えます。

※1:ヘルスケアプラットフォーム  
健康増進、疾病予防、治療促進を目的とし、聖マリアンナ病院および企業の持つ医療・健康に関する知識・情報を集約し、地域住民に還元するための技術を駆使したプラットフォーム (ヘルスプロモーションの土台)  
※2:ヘルスプロモーション  
人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセス【オタワ憲章】



図1 マリアンナ総合ヘルスケア・デジタル・プラットフォーム (仮称)

# 令和3年度通常総会開催および新会長挨拶

## 花井会長から長野会長へ



挨拶する花井会長

去る6月18日(金)県総合医療会館7階講堂において、令和3年度通常総会が開催されました。

令和3年6月1日現在の総会員数は35,636名、委任状27,532名で参加者数は50名でした。

花井会長の挨拶の後、報告事項に続き第1号議案 令和2年度決算(案)及び監査報告、第2号議案

令和3年度役員の見出しが行われ、投票の結果候補者13名が選出され、臨時理事会を経て長野新会長が誕生しました。

この他、勝山副会長、渡邊副会長、門根常務理事、杉浦常務理事、小田保健師職能理事、布施助産師職能理事、横田看護師職能理事Ⅰ、平田看護師職能理事Ⅱ、本館川崎支部理事、渡辺相模原支部理事、山岡湘南支部理事、高橋准看護師職能理事が選定されました。

また、長場常務理事は、専務理事となりました。



退任される旧役員の方々

## 長野新会長就任挨拶



長野新会長

令和3年度の総会並びに理事会において会長を拝命しました長野でございます。

会員の皆様におかれましては、平素より神奈川県看護協会の事業にご理解とご協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。私どもは新体制のもと、引き続き他の

都道府県看護協会に先駆けるフロントランナーを目指し事業展開を行って参ります。現在、外部から有識者の方々をお招きし、神奈川県看護協会の将来の在り方について検討するなど、精力的に取り組んでおります。

また、国難とも称される今日のコロナ禍においては、看護に

求められる社会的使命を果たそうと最前線で懸命に戦っておられる皆様に敬意を表するとともに、神奈川県看護協会として看護職への更なる支援を県・国に要望して参ります。

## 令和3年度 役員紹介

※(再)=再任 (新)=新任



会長(新)  
ながの ひろたけ  
長野 広敬  
神奈川県看護協会



副会長(新)  
かつやま きみこ  
勝山 貴美子  
横浜市立大学  
大学院医学研究科



副会長(新)  
わたなべ てるこ  
渡邊 輝子  
済生会横浜市東部病院



専務理事  
ながはま なおこ  
長場 直子  
神奈川県看護協会



常務理事(新)  
かどね みちえ  
門根 道枝  
神奈川県看護協会



常務理事(新)  
すぎうら ゆみこ  
杉浦 由美子  
神奈川県看護協会



保健師職能理事(新)  
おだま まちこ  
小田 真智子  
川崎市多摩区役所  
地域みまもり支援センター



助産師職能理事(新)  
ふせ あけみ  
布施 明美  
医療法人産育会  
堀病院



看護師職能理事Ⅰ(再)  
よこた ひろこ  
横田 弘子  
東海大学医学部付属病院



看護師職能理事Ⅱ(再)  
ひらた ゆうこ  
平田 祐子  
介護老人保健施設  
都筑ハートフルステーション



川崎支部理事(再)  
もとくに のりこ  
本館 教子  
聖マリアンナ医科大学病院



横浜北支部理事  
はら くみこ  
原 久美  
平和会平和病院



横浜西支部理事  
よしざわ としこ  
吉澤 壽子  
育生会横浜病院



横浜南支部理事  
はまさき とよこ  
濱崎 登代子  
横浜市立大学附属病院



横須賀支部理事  
こいけ みちこ  
小池 美智子  
横須賀共済病院



相模原支部理事(再)  
わたなべ かよこ  
渡辺 加代子  
淵野辺総合病院



小田原支部理事  
おたに なおこ  
藤澤 なお子  
神奈川県立足柄上病院



湘南支部理事(新)  
やまおか ゆきよ  
山岡 澄代  
茅ヶ崎市立病院



県央支部理事  
わたなべ みきよ  
渡辺 美加子  
神奈川県リハビリテーション病院



准看護師理事(新)  
たかはし ひろや  
高橋 ひさよ  
総合新川橋病院



監事  
あおやま ゆうじ  
青山 裕治  
青山会計事務所



監事  
さasaki えみこ  
鈴木 恵美子  
横浜メディカルグループ本部

## 令和3年度 委員会名簿

### 職能委員会

- 保健師職能委員会
  - 小田 真智子 (保)
  - 川田 貴久江 (保)
  - 岩井 裕子 (保)
  - 大磯 八重子 (保)
  - 磯崎 夫美子 (保)
  - 中野 祐子 (保)
  - 松坂 由香里 (保)
  - 小比田 協子 (保)
  - 舟久保 麻理子 (保)
- 助産師職能委員会
  - 布施 明美 (助)
  - 熊林 丸苗 (助)
  - 熊林 丸奈美 (助)
  - 熊林 和秀 (助)
  - 土中 井村 和子 (助)
  - 土中 井村 綾美 (助)
  - 藤松 谷直子 (助)
  - 藤松 原直子 (助)
  - 岩原 光代 (助)
- 看護師職能委員会Ⅰ
  - 横田 弘子 (看)
  - 西野 由紀子 (看)
  - 浅井 久保尚子 (看)
  - 大野 多恵子 (看)
  - 吉川 桂里子 (看)
  - 甘粕 礼子 (看)
  - 山田 乃理子 (看)
  - 駒野 美子 (看)
  - 中野 亜沙美 (看)
- 看護師職能委員会Ⅱ
  - 平田 祐子 (看)
  - 河川 朋理 (看)
  - 森川 真理 (看)
  - 池田 伊基 (看)
  - 山森 智子 (看)
  - 大田 中下 (看)
  - 丹下 川雅子 (看)
  - 荒藤 佳代子 (看)
  - 加志 豊子 (看)
- 川崎支部
  - 本館 教子 (看)
  - 坂下 聖加子 (看)
  - 林 聡美 (保)
  - 藤 慎子 (保)
  - 佐藤 弘美 (看)
- 小田原支部
  - 池藤 佳歌 (看)
  - 吉村 佳奈美 (看)
  - 葛木 三恵子 (看)
  - 石井 美悦 (看)
  - 江田 貴美子 (保)
- 相模原支部
  - 渡辺 加代子 (看)
  - 梶浦 和裕 (看)
  - 山部 美智子 (看)
  - 福増 晶子 (看)
  - 熊谷 妙子 (看)
  - 加藤 香子 (保)
  - 小島 法子 (看)
- 小田原支部
  - 藤澤 なお子 (看)
  - 引地 ゆかり (看)
  - 星野 真紀 (看)

- 横浜北支部
  - 原 久美子 (看)
  - 大富 山子 (看)
  - 野村 千佳子 (看)
  - 山江 麗子 (看)
  - 早野 瑠美子 (看)
- 横浜西支部
  - 吉川 純子 (看)
  - 大塚 明子 (看)
  - 新山 美帆子 (看)
  - 片山 幸子 (看)
  - 栗田 佳寿美 (看)
- 横浜南支部
  - 濱崎 登代子 (看)
  - 小川 美穂 (看)
  - 牧 小百合 (看)
  - 山本 佐枝子 (看)
  - 植根 幸子 (看)
  - 関根 貴子 (看)
- 横須賀支部
  - 池藤 佳歌 (看)
  - 小伊藤 佳奈美 (看)
  - 吉村 三恵子 (看)
  - 石井 美悦 (看)
  - 江田 貴美子 (保)
- 相模原支部
  - 渡辺 加代子 (看)
  - 梶浦 和裕 (看)
  - 山部 美智子 (看)
  - 福増 晶子 (看)
  - 熊谷 妙子 (看)
  - 加藤 香子 (保)
  - 小島 法子 (看)

- 酒井 てる子 (看)
- 長谷川 妙子 (保)
- 齋藤 裕美子 (看)
- 野田 美子 (看)
- 米谷 雅子 (保)
- 湘南支部
  - 岡崎 澄代 (看)
  - 山崎 恵美子 (看)
  - 尾上 幸子 (看)
  - 西島 文子 (看)
  - 佐藤 文子 (看)
  - 本城 文子 (看)
  - 後藤 丸山 (看)
  - 牛橋 純子 (保)
- 県央支部
  - 渡辺 美加子 (看)
  - 加藤 美和子 (看)
  - 吉村 里美子 (看)
  - 小倉 戸里美子 (看)
  - 梅津 裕子 (看)
  - 壺井 西和子 (看)
  - 小田 倉悦子 (保)

- 牛田 多恵子 (看)
- 大貝 忍子 (看)
- 塚田 久美子 (看)
- 毛塚 由美子 (看)
- 五木 美和子 (看)
- 小坂 妙子 (看)
- 坂元 佳子 (看)
- 鈴木 美紀 (看)
- 高橋 理英子 (看)
- 星山 美穂 (看)
- 前田 佳美 (看)
- 三田 亜希子 (看)
- 広報出版委員会
  - 矢野 有美子 (看)
  - 竹田 さとみ (看)
  - 長谷川 英子 (看)
  - 山口 貴子 (看)
  - 山崎 哲 (看)
  - 宇賀神 純子 (看)
  - 関根 由美子 (看)
  - 中村 すみ子 (保)
  - 森脇 佳和子 (看)
  - 細山 和美 (看)
- 業務委員会
  - 井口 網枝 (看)
  - 小出 真紀 (看)
  - 高倉 睦子 (助)
  - 清水 裕子 (保)
  - 袖山 亜美 (看)
  - 堀山 穂穂 (看)
- 会員委員会
  - 大野 容子 (看)
  - 高橋 智子 (看)
  - 小島 由美子 (看)
  - 小島 恵理子 (看)
  - 浦谷 朱希子 (看)
  - 高木 美香 (看)
  - 西川 希子 (看)
  - 雪子 (看)
- 医療安全対策委員会
  - 三上 久美子 (看)
  - 新田 美佐香 (看)
  - 齋藤 英恵 (看)
  - 大木 志光 (看)
  - 原村 佳子 (看)
  - 柴田 由佳子 (看)
  - 吉井 涼子 (看)
- 災害救護対策委員会
  - 原 美智子 (看)

- 岡田 智子 (助)
- 長島 江大 (看)
- 源方 千帆 (保)
- 西坂 利奈子 (看)
- 樋口 珠江 (看)
- 三澤 悠史 (看)
- 神奈川県看護学会運営委員会
  - 門根 道枝 (看)
  - 渡部 邦枝 (助)
  - 香取 洋子 (助)
  - 金井 Pak 雅子 (看)
  - 杉山 恵子 (看)
  - 辻本 真由美 (看)
  - 新田 一 (看)
  - 八ッ橋 のぞみ (看)
  - 横山 亜矢 (看)
  - 和田 由樹 (看)
- 准看護師教育検討委員会
  - 津田 優紀 (看)
  - 櫻江 薫 (看)
  - 藤掛 香 (看)
  - 七木 佳子 (看)
  - 高梨 明子 (看)
  - 二宮 昭子 (准)
  - 高橋 ひさよ (准)

### その他の会議等

- 財政会議
  - 長場 直子 (看)
  - 勝山 貴美子 (看)
  - 高橋 恵 (看)
  - 高橋 創一 (事務)
- 看護研究倫理審査会
  - 長野 広敬 (看)
  - 長場 直子 (看)
  - 門根 道枝 (看)
  - 杉浦 由美子 (看)
  - 白木 眞理子 (看)
  - 宮脇 美保子 (看)
- 認定看護管理者教育運営会議
  - 高橋 恵 (看)
  - 澤邊 綾子 (看)
  - 小山 智子 (看)
  - 平野 美幸 (看)
  - 樋口 美佳 (看)
  - 門根 道枝 (看)
  - 藤波 富美子 (助)
  - 井手 千代美 (看)
  - 大森 喜美江 (看)

(令和3年7月現在)

# 事業報告

## 重点事業

- 1 地域包括ケア推進に携わる看護職の資質向上とその支援
  - 1) 医療機関から地域への円滑な移行を推進するための看護職員研修の充実
  - 2) 介護施設や訪問看護領域で働く看護職の資質向上のための研修の充実
  - 3) 地域包括ケアの充実に向けた多職種連携の推進
- 2 看護職の働きやすい職場環境づくりへの支援と就業促進
  - 1) 職場環境改善に向けた研修の充実
  - 2) 働きやすい職場環境づくりに向けた看護管理者研修の充実
  - 3) 看護職としてのキャリア継続支援の推進及び就職情報の充実
- 3 時代のニーズに対応した継続教育の充実とキャリア支援の推進
  - 1) 看護管理者の育成と継続教育の充実
  - 2) 小規模施設、介護施設、クリニック等に勤務する新人から管理者までの継続教育及びクリニカルリーダー推進への支援
- 4 災害発災時対策の充実
  - 1) 災害支援ナース育成の推進
  - 2) 災害看護実務研修及び管理者研修の充実
  - 3) 災害支援に関わる関係機関等との連携推進

表内 ※中止は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止

## I 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業(定款第4条第1項第1号 公益目的事業)

事業実施内容	
1 県民に対する看護の普及活動	
1) 看護週間行事	
(1) 看護フェスティバル	令和2年5月9日(土) みなとみらいクイーンズサークル ※中止
(2) 「一日看護体験」事業	実施期間 令和2年5月1日～8月31日 参加者数 1,619名 県内病院等実施施設 48施設
2) 県民に対する広報活動の強化	
(1) 広報出版委員会の開催	
(2) 「KANAGAWA 看護だより」の発行	年6回 計214,900部発行 配布先：病院等施設、市町、図書館等及びホームページ掲載
(3) ホームページの充実・利用の促進	アクセス数 年179,746件
2 県民のための健康相談及び知識の普及	
1) 健康相談事業の充実	支部及び協会訪問看護ステーションの「まちの保健室」活動支援 活動支部 川崎支部、横浜北支部、横浜西支部、横須賀支部、相模原支部、県央支部 県看護協会訪問看護ステーション 年1回×4事業所

## 事業実施内容

- 2) 訪問看護の普及啓発を目的とした「かながわ訪問看護フェスティバル」の開催  
令和2年10月24日(土) 神奈川県総合医療会館7階 参加者数 延97名
- 3) 健康・医療・安全に関する知識の普及・啓発  
県民及び看護職を対象とした禁煙の推進  
「スモークフリー推進かながわ基金」への拠出及び禁煙に関する委員会への参加
- 4) 県内の医療職に対する緊急情報の周知
  - (1) トピックス研修 年2回
    - ①テーマ「神奈川県に於ける看護職の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への取り組みについて」  
令和2年11月2日(月)
    - ②テーマ「ELNEC-JG 高齢者のエンド・オブ・ライフケアを支える包括的研修プログラム」  
令和3年3月6日(土)・令和3年3月7日(日)
  - (2) 緊急情報のホームページへの掲載(随時)
- 5) 次世代育成対策の普及  
看護実践教育アドバイザー派遣  
派遣対象施設：看護学生の実習受入施設(199床以下の病院及び看護職員が少ない福祉施設)  
アドバイザー4名、派遣実績4施設、相談事業：対応6件

## II 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業(定款第4条第1項第2号 公益目的事業)

事業実施内容	
1 訪問看護及び居宅介護支援事業	
1) 訪問看護事業	医師等との連携による療養支援、夜間・休日における緊急時の相談及び訪問、適切なケアと家族等への支援
(1) 訪問看護ステーション所長会議	年12回
(2) 訪問実績	かがやき訪問看護ステーション(藤沢市) 14,343件 あかしあ訪問看護ステーション(茅ヶ崎市) 7,180件 おおいそ訪問看護ステーション(大磯町) 7,519件 洋光台訪問看護ステーション(横浜市) 9,208件 合計 38,250件
2) 居宅介護支援事業	要介護状態の人々が自立した質の高い生活を送ることができるよう、ケアプランの作成及び相談支援
ケアプラン作成実績	かがやき訪問看護ステーション(藤沢市) 655件 おおいそ訪問看護ステーション(大磯町) 639件 合計 1,294件
3) 訪問看護・居宅介護支援事業の質評価	
(1) 利用者満足度調査	年1回
(2) 介護サービス情報公表にかかる事業所自己評価	年1回
4) 地域への活動	
(1) 退院調整のための病院訪問(地域連携室など)	各訪問看護ステーション 月2回/年24回
(2) 訪問看護ステーションの普及・啓発活動	各訪問看護ステーションパンフレット作成 広報活動(広報誌、地域住民向け健康講座、SNS等の利用)

事業実施内容	
(3) 訪問看護ステーション教育支援(県補助)	
同行訪問研修	
新任または経験の少ない訪問看護師への研修	
教育担当者への研修	
5) 看護職員等の資質の向上	
(1) 訪問看護ステーション内研修	
訪問看護に関する情報共有、勉強会等	各訪問看護ステーション 月2~4回
(2) 事例検討会	
困難ケース等についての検討会	各訪問看護ステーション 年3回
(3) 研修への参加	訪問看護ステーション 年2回
6) 看護職・看護学生・福祉職に対する教育支援	
看護大学生、専門学校生、県看護協会研修生等の受け入れ	延91名/4ステーション
7) 関係機関との連携	
(1) 病院と看護協会訪問看護ステーションとの訪問看護出向事業	年2回
(2) 関係団体との連携及び会議等への参加	各訪問看護ステーション 年10回

### Ⅲ 看護における医療安全及び災害時等の救護に関する事業(定款第4条第1項第3号 公益目的事業)

事業実施内容	
1 看護における医療安全体制強化のための支援	
1) 医療安全情報収集・情報発信	
医療安全対策委員会	年7回
「医療安全情報」発行	年2回 2,800部 配布先 病院等施設
2) 医療介護福祉従事者への意識啓発	※中止
3) 医療安全管理者養成研修修了者への活動支援	
医療安全管理者情報交換と啓発活動	交流会 年9回
4) 関連団体との連携推進	
(1) 日本看護協会との連携	
(2) 神奈川県6団体による医療安全推進会議及びセミナーへの参加	会議 年1回 書面会議 セミナー ※中止
5) 医療安全に関する相談・情報提供	
(1) 医療事故に関係した看護職への支援、相談対応	
(2) 医療事故防止対策に関する広報	
(3) 「医療安全情報」のホームページ掲載	
(4) 医療安全推進週間の広報(11月25日含む前後1週間)	
6) 小規模施設の感染予防対策の充実	
認定看護師による出張相談	12件
2 災害時の看護支援活動の強化と普及	
1) 関連団体との連携推進	
(1) 日本看護協会との連携推進	
・日本看護協会災害担当者会議	年1回
・都道府県看護協会災害支援ナース派遣調整合同訓練への参加	年1回 3日
(2) 県・市合同総合防災訓練への参加	
・県市合同総合防災訓練会議	※中止
・県市合同総合防災訓練	※中止

事業実施内容	
(3) 県内関連施設との連携	
県内関連施設との防災訓練	年1回 3日
(4) 横浜市災害看護研修	年1回 受講者37名 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回中止
2) 災害支援ナースの派遣	
神奈川県及び(公社)日本看護協会の要請に基づく災害支援ナースの派遣準備	
3) 災害への備え・広報活動	
(1) 災害救護対策委員会	
(2) 災害支援ナースの携行物品の整備	
・災害支援ナース携行物品の整備(15セット)	
(3) 災害看護研修の支援	
・インターネット配信研修(災害支援ナースの基礎知識) 年2回 各2日	
第1回 受講者25名、第2回 受講者43名	
・災害看護マネジメント研修	※中止
・災害支援ナース育成研修(災害看護実務編) 年2回 各2日	
第1回 受講者32名、第2回 受講者18名	
・災害看護基礎研修 学んでみよう災害看護	※中止
(4) 災害支援ナース登録推進	
災害支援ナースフォローアップ研修	令和3年2月26日(金) 受講者86名
対象者: 災害支援ナース登録者	
(5) 県民を対象とした災害時の知識の普及・啓発	
・県市合同防災訓練及び看護フェスティバル等でリーフレット配布、デモンストレーション	※中止
3 新型コロナウイルス感染症対策特別班(設置期間: 令和3年1月12日~3月31日)	
感染対策研修実施数	48回/年
感染相談訪問事業	12回/年
新型コロナウイルス感染症相談窓口件数	103回/年
4 「令和2年 新型コロナウイルス感染症への対応」報告書の発行	
令和2年12月	2,000部発行
配布先: 会員施設	1,245部、日本看護協会及び都道府県看護協会47部、医師会等28部
在宅医療トレーニングセンター	11部、神奈川県議会議員105部、報道機関19部等

### Ⅳ 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業(定款第4条第1項第4号 公益目的事業)

事業実施内容	
1 看護職の資質向上の支援	
1) 継続教育の推進	
(1) 看護実践能力研修	年24回 延30日 延受講者1,320名(※中止4研修)
(2) 組織的役割遂行能力/自己教育・研究能力研修	年14回 延17日 延受講者767名(※中止2研修)
(3) 200床以下の施設に勤務する看護職員研修(対象: 新人看護師)	※中止
(4) 200床以下の施設に勤務する看護職員研修(対象: 中堅看護師)	※中止
(5) 200床以下の施設に勤務する看護職員研修(対象: 看護管理者)	※中止
(6) 研修運営事業	
・「教育計画」タブロイド判作成	48,000部
(7) オープンセミナー	
病院等施設などで企画した研修を県下の看護職に公開	
実施施設	24施設 延106研修(※中止101研修) 参加者延420名

事業実施内容			
(8) 教育計画・事業(案)説明会	年1回	参加者	86名
2) 新人看護職員研修の充実			
(1) がんばれ!新人ナース!!	※中止		
3) 支部との連携研修	1日	受講者	45名(横浜南支部との連携)
4) 看護研究の充実			
(1) 神奈川看護学会の開催			
令和2年12月5日(土)	パシフィコ横浜アネックスホール	参加者	389名
・運営委員会	年4回		
・査読会議	年1回		
・看護研究奨励賞選考会議	年1回		
(2) 看護研究推進支援	研究指導講師紹介	4グループ	
5) 教育企画運営に向けての支援			
(1) 教育研修委員会			
(2) 准看護師教育検討委員会			
2 看護職の活動の充実			
1) 職能における研修等			
2) 支部における研修等			
3) 看護職員の就業環境改善の促進			
(1) 業務委員会			
(2) 社会経済福祉委員会			
3 地域看護の推進と拡充			
1) 地域看護の質向上と推進			
(1) 訪問看護の推進			
訪問看護ステーション一覧の作成	2,000部		
配布先:訪問看護ステーション、地域包括支援センター、病院、行政等、ホームページへの掲載			
(2) 「訪問看護従事者相談」相談窓口の設置			
訪問看護等に関する相談、助言	月~金	年190件	
2) 地域看護の質向上に関する研修			
(1) 地域看護における看護職員の育成			
・訪問看護入門研修会	年5回 2日	受講者	延185名
・訪問看護師養成講習会	年1回 3日+eラーニング	195時間相当	
		受講者	63名
・精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会	年1回 3日	受講者	56名
・地域連携のための相互研修会	年2回 3日	受講者	103名
・介護保険施設等看護研修Ⅰ(基礎レベル)	年1回 3日	受講者	38名
・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修(看護学生対象)	※中止		
(2) 地域看護におけるリーダーの育成と専門性の確立			
・介護保険施設等看護研修Ⅱ(中堅レベル)	年1回 3日	受講者	57名
・小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会	年1回 11日	受講者	66名
・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修(看護師対象)	年2回 1日	受講者	57名
(3) 地域看護におけるトップマネジャーの育成			
・訪問看護ステーション管理者研修会	年2回 1日	受講者	延55名
・介護保険施設等看護研修Ⅲ(管理レベル)	年1回 3日	受講者	47名

V 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業(定款第4条第1項第5号 公益目的事業)

事業実施内容			
1 看護職員確保定着対策の推進			
1) 看護師等の無料職業紹介事業(本所及び相模原支所)			
(1) 求人・求職者の登録・相談、紹介、情報提供			
求人相談	年4,242件	求職相談	年6,341件
(2) 第6次NCCSの運用(※訪問中止)			
就職数	年延665件		
(3) 相談員の質の向上	相談員学習会	年2回	
2) 届出制度の促進及び支援事業			
(1) 届出制度の普及	届出数	:5,265人	
(2) 届出者の情報管理	就職・研修等の情報提供	1回以上/月	
3) ハローワーク・ナースセンター連携事業			
(1) 労働局・公共職業安定所との連携			
・求人票・求職者の情報交換と支援及び職種別賃金等の情報交換			
・巡回相談の実施	6回/月	面談者	108人
・運営及び情報共有の会議	連絡調整会議の開催	年1回	求人・求職の情報共有
・相談会等への相談員の派遣	連携した相談・見学会の実施	年2回	
4) 広報活動及び情報提供事業			
(1) 「ナースセンターご案内」リーフレット等の作成・配布			
未就業看護職・施設等への配布	1,000部		
(2) 看護学生・教員への周知			
卒業年度学生へ「はたさば」配布			
(3) 年報の発行	200部	配布先:行政機関等	91か所
(4) 医療・看護・介護に関するビデオ・DVDの貸出(館内・館外)		利用件数	年41件
(※新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限あり)			
(5) ナースセンターホームページによる広報の強化			
求人・求職登録増にむけた内容修正	随時		
5) 関係機関との連携・会議			
(1) 中央・都道府県ナースセンターとの連携			
	通年/随時		
(2) 社会福祉協議会福祉人材センターとの連携			
・福祉施設等就職相談会等への協力・後援			
福祉施設等就職相談会への派遣及び登録求職者への研修案内配布協力			
(3) 会議			
・看護職員確保対策連絡協議会	年1回		
・ナースセンター事業運営会議	年1回		
・ナースセンター連絡会議	年1回		
・都道府県ナースセンター事業担当者会議	年1回		
・都道府県ナースセンター相談員研修	年1回		
・都道府県ナースセンター地区別意見交換会	年1回		
6) 看護職員の定着を図るための相談事業			
就業者の就業相談の実施	相談内容の分類と分析/通年		
7) 研修支援事業			
(1) 未就業看護師等への「復職支援研修」			
	年1回	定員30名	受講者33名 就業者数11名

事業実施内容
<p>年4回 受講者38名 軽症者療養宿泊施設への就業者へ感染対策基礎研修を実施</p> <p>(2) 定着に向けた「就職定着自己学習会」</p> <p>年6回 定員36名 受講者18名 定着数9名 (※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言中は募集人数を制限して実施)</p> <p>(3) 看護職のキャリア継続支援研修「キャリアをつなぎ・いかす」</p> <p>定員60名 応募者62名 受講者：51名</p> <p>2 看護に関する普及啓発事業の充実</p> <p>1) 進路相談事業 通年 相談件数：67件/年 案内期間：5月1日～8月31日</p> <p>2) 看護フェスティバル開催への協働 看護フェスティバルでの相談 ※中止</p> <p>3) 看護の仕事の普及啓発 若年層を対象とした看護の仕事の普及啓発 「やさしさがキャリアになる」リーフレット配布</p>

VI 会員に対する支援事業(定款第4条第2項第1号 収益事業)

事業実施内容
<p>1 会員に対する情報提供等事業</p> <p>1) 職能委員会における情報提供等</p> <p>2) 支部における情報提供等</p> <p>2 会員に対する福利厚生事業</p> <p>1) 「看護職賠償責任保険制度」の加入推進 加入者数 8,705名</p> <p>2) 表彰</p> <p>3) 神奈川県看護協会指定店事業 指定店 約300店舗</p> <p>4) 会員の慶弔等への対応 弔慰金支給 9件</p> <p>5) 会員相互の親睦を深める機会の充実</p> <p>・会員交流会 令和2年9月12日(土) 参加者71名 神奈川県総合医療会館7階講堂 対象：60歳以上の会員(令和3年3月末現在)</p> <p>・新春のつどい ※中止</p> <p>6) お年玉プレゼント(広報出版委員会) 当選者 119名</p> <p>7) 会員サポート事業</p> <p>3 会員に対する研修支援事業</p> <p>1) 看護管理者及びスペシャリストのための学習支援</p> <p>(1) 認定看護管理者教育課程事業</p> <p>・認定看護管理者教育課程運営会議 定例会 年2回</p> <p>・ファーストレベル 休講</p> <p>・セカンドレベル 研修期間 令和2年10月8日～令和3年2月26日 受講者41名</p> <p>・セカンドフォローアップ研修 年1回 受講者30名</p> <p>・セカンドレベル修了者交流研修 年1回 受講者40名</p> <p>・緩和ケア認定看護師フォローアップ研修 年1回 受講者46名</p> <p>(2) 組織的役割遂行能力/自己教育・研究能力研修 年8回 延11日 延受講者415名</p> <p>(3) 医療安全管理者養成研修 年1回 eラーニング(41時間20分)・集合研修 1日 受講者128名</p>

VII 法人の管理に関する事業(定款第4条第2項第2号 法人管理事業)

事業実施内容
<p>1 職能団体としての組織・運営強化</p> <p>1) 諸会議の開催</p> <p>(1) 通常総会 令和2年6月19日(金)</p> <p>(2) 理事会 定例理事会 5回 臨時理事会 2回</p> <p>(3) 事業説明会 年1回</p> <p>(4) 財政会議</p> <p>(5) 新聞への広告掲載 年2回</p> <p>2) 日本看護協会との連携</p> <p>(1) 通常総会への参加 令和2年6月11日(木) 開催地：日本看護協会 JNA ホール(福岡県マリンメッセ福岡より変更) 代議員は出席せず議決権行使書を提出</p> <p>(2) 全国職能集会への参加 令和2年6月12日(金) 開催地：福岡県 マリンメッセ福岡 ※中止</p> <p>(3) 地区別法人会(関東甲信地区)の開催 令和2年10月29日(木) 新潟県 ホテルオークラ新潟</p> <p>(4) 関東甲信地区支部役員等研修会への参加 ※中止</p> <p>3) 新公益法人に関する業務等 ホームページ、KANAGAWA看護だより等の活用</p> <p>4) 事務局機能の整備・充実</p> <p>(1) 事務局情報通信システムの運用・管理</p> <p>(2) 役職員の資質向上のための研修及び学会参加 事務局・訪問看護ステーション研修 年各1回、学会参加 年7回</p> <p>5) 委員会</p> <p>(1) 推薦委員会</p> <p>(2) 会員委員会</p> <p>(3) 看護研究倫理審査会 年1回</p> <p>2 政策提言及び県・関係団体・看護学校等との連携促進</p> <p>1) 神奈川県・県議会への要望活動 年1回</p> <p>2) 神奈川県との連携</p> <p>3) 県内医療関係団体等との連携・交流の推進</p>

# 貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	641,447,033	640,015,649	1,431,384
未収金	90,854,181	79,690,969	11,163,212
前払金	4,856,086	6,331,657	△ 1,475,571
立替金	76,448	477,850	△ 401,402
流動資産合計	737,233,748	726,516,125	10,717,623
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	102,800,773	102,800,773	0
建物	394,971,693	407,943,270	△ 12,971,577
基本財産合計	497,772,466	510,744,043	△ 12,971,577
(2) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	8,478,800	6,785,480	1,693,320
退職給付引当資産	91,129,049	103,367,275	△ 12,238,226
資産取得積立資産	762,587,808	737,426,763	25,161,045
建物建替積立資産	294,695,215	282,396,031	12,299,184
特定資産合計	1,156,890,872	1,129,975,549	26,915,323
(3) その他固定資産			
車両運搬具	3	3	0
什器備品	1,858,396	2,488,392	△ 629,996
ソフトウェア	6,324,480	0	6,324,480
敷金	1,702,200	1,689,000	13,200
保証金	5,622,702	5,622,702	0
その他固定資産合計	15,507,781	9,800,097	5,707,684
固定資産合計	1,670,171,119	1,650,519,689	19,651,430
資産合計	2,407,404,867	2,377,035,814	30,369,053
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	30,127,773	18,198,753	11,929,020
前受金	205,203,000	195,215,000	9,988,000
預り金	4,182,572	3,827,299	355,273
役員賞与引当金	1,219,000	1,219,000	0
賞与引当金	13,622,000	12,838,974	783,026
流動負債合計	254,354,345	231,299,026	23,055,319
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	8,478,800	6,785,480	1,693,320
退職給付引当金	91,129,049	103,367,275	△ 12,238,226
固定負債合計	99,607,849	110,152,755	△ 10,544,906
負債合計	353,962,194	341,451,781	12,510,413
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	497,772,466	510,744,043	△ 12,971,577
(うち特定資産への充当額)	982,255,812	957,094,767	25,161,045
正味財産合計	2,053,442,673	2,035,584,033	17,858,640
負債及び正味財産合計	2,407,404,867	2,377,035,814	30,369,053

# 正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	247,557	281,158	△ 33,601
特定資産受取利息	247,557	281,158	△ 33,601
受取入会金	63,040,000	64,000,000	△ 960,000
受取入会金	63,040,000	64,000,000	△ 960,000
受取年会費	228,888,000	226,227,000	2,661,000
受取会費	228,888,000	226,227,000	2,661,000
事業収益	432,491,319	439,288,150	△ 6,796,831
受講料等収益	22,390,576	46,636,868	△ 24,246,292
受託事業資料代収益	1,105,500	4,044,500	△ 2,939,000
参加費収益	1,260,000	5,653,000	△ 4,393,000
訪問看護事業収益	392,772,830	370,027,476	22,745,354
療養費収益	130,233,563	130,044,005	189,558
介護保険収益	253,804,461	232,324,159	21,480,302
休日訪問等収益	2,199,400	1,749,733	449,667
その他利用収益	6,535,406	5,909,579	625,827
居宅介護支援事業収益	14,962,413	12,926,306	2,036,107
受取補助金等	96,820,920	101,619,886	△ 4,798,966
受取神奈川県補助金等収益	74,351,686	80,046,590	△ 5,694,904
ナースセンター事業受託収入	51,449,000	51,137,000	312,000
看護研修事業受託収入	1,181,840	999,000	182,840
訪問看護導入研修受託収入	1,432,000	1,406,000	26,000
訪問看護ステーション・医療機関相互研修受託収入	1,430,000	1,430,000	0
重症心身障害児者看護研修事業受託収入	856,000	856,000	0
介護施設等看護実務者研修事業受託収入	1,560,000	1,560,000	0
看護実践教育アドバイザー事業受託収入	13,807,124	20,039,036	△ 6,231,912
看護師管理栄養士養成研修事業受託収入	748,610	748,610	0
重度重複障害者等支援看護師養成研修事業受託収入	577,112	670,944	△ 93,832
訪問看護ステーション教育支援事業受取補助金	1,200,000	1,200,000	0
新型コロナウイルス感染予防動画制作業務受託収入	110,000	0	110,000
受取横浜市補助金等収益	3,170,326	3,074,455	95,871
訪問看護師研修会事業受託収入	1,120,370	1,120,370	0
小児訪問看護・重症心身障害児者看護研修会事業受託収入	1,583,000	1,582,777	223
災害支援ナース研修事業受託収入	125,956	95,208	30,748
看護職員復職後フォローアップ研修事業受託収入	341,000	276,100	64,900
受取川崎市補助金等収益	567,000	567,000	0
重症心身障害児者看護研修事業受託収入	567,000	567,000	0
受取相模原市補助金等収益	1,015,108	1,050,641	△ 35,533
ナースセンター事業受取補助金	1,015,108	1,050,641	△ 35,533
受取日本看護協会補助金等収益	15,561,800	15,913,200	△ 351,400
教育事業及び看護の普及啓発事業助成金	10,246,630	10,194,620	52,010
会員登録事務業務受託収益	5,315,170	5,218,580	96,590
看護政策推進のための組織強化事業受託収益	0	500,000	△ 500,000
受取団体助成金等収益	2,155,000	968,000	1,187,000
団体助成金収入	693,000	968,000	△ 275,000
安全・安心な横浜MICE開催支援助成金	1,462,000	0	1,462,000
受取寄付金	4,540,000	4,470,000	70,000
受取寄付金	1,540,000	1,110,000	430,000
協賛金収益	3,000,000	3,360,000	△ 360,000
かながわ看護フェスティバル	3,000,000	3,360,000	△ 360,000
雑収益	5,082,354	1,701,407	3,380,947
受取利息	34,754	35,357	△ 603
その他の雑収益	5,047,600	1,666,050	3,381,550
経常収益計	831,110,150	837,587,601	△ 6,477,451
(2) 経常費用			
事業費	764,274,657	794,506,950	△ 30,232,293
役員報酬	24,570,150	24,542,943	27,207
給料手当	456,123,212	439,671,567	16,451,645
臨時雇賃金	3,363,950	8,537,361	△ 5,173,411
役員賞与引当金繰入額	886,000	886,000	0
賞与引当金繰入額	13,167,000	12,283,000	884,000
役員退職慰労引当金繰入額	1,693,255	1,438,030	255,225
退職給付費用	0	29,763,535	△ 29,763,535
法定福利費	73,045,303	68,083,918	4,961,385
福利厚生費	1,656,389	7,455,723	△ 5,799,334
会議費	447,966	597,747	△ 149,781

# 財産目録

令和 3年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
旅費交通費	4,977,568	7,111,156	△ 2,133,588
広告宣伝費	180,180	991,920	△ 811,740
通信運搬費	15,277,410	13,214,414	2,062,996
減価償却費	11,439,967	11,402,644	37,323
消耗什器備品費	2,156,239	2,517,408	△ 361,169
消耗品費	14,044,448	13,968,293	76,155
修繕費	369,922	361,278	8,644
印刷製本費	20,284,454	24,202,969	△ 3,918,515
燃料費	1,447,930	1,656,562	△ 208,632
光熱水料費	2,323,579	2,359,897	△ 36,318
賃借料	38,465,707	39,320,391	△ 854,684
支払リース料	22,018,682	18,025,356	3,993,326
保険料	2,608,552	2,823,142	△ 214,590
諸謝金	15,720,594	23,145,173	△ 7,424,579
租税公課	7,466,265	7,709,920	△ 243,655
支払手数料	1,502,267	1,562,781	△ 60,514
支払負担金	14,660,292	14,299,123	361,169
支払寄付金	47,761	0	47,761
委託費	14,147,123	16,341,420	△ 2,194,297
雑費	182,492	233,279	△ 50,787
管理費	48,976,852	41,844,197	7,132,655
役員報酬	5,873,930	5,693,147	180,783
給料手当	6,643,221	6,620,679	22,542
役員賞与引当金繰入額	333,000	333,000	0
賞与引当金繰入額	455,000	441,000	14,000
役員退職慰労引当金繰入額	65	50	15
退職給付費用	34,338	68,265	△ 33,927
法定福利費	3,458,189	3,272,133	186,056
福利厚生費	2,899,130	2,681,887	217,243
会議費	178,092	161,108	16,984
旅費交通費	604,070	1,555,840	△ 951,770
広告宣伝費	110,000	108,000	2,000
通信運搬費	3,371,517	1,632,820	1,738,697
減価償却費	3,742,725	1,952,013	1,790,712
消耗什器備品費	973,098	495,630	477,468
消耗品費	310,479	1,672,762	△ 1,362,283
修繕費	0	4,500	△ 4,500
印刷製本費	2,823,191	1,950,613	872,578
光熱水料費	26,058	17,483	8,575
賃借料	1,722,468	1,165,850	556,618
支払リース料	932,316	1,012,261	△ 79,945
保険料	216,210	248,360	△ 32,150
諸謝金	1,353,700	1,432,980	△ 79,280
渉外費	0	29,400	△ 29,400
租税公課	2,288,543	168,615	2,119,928
支払手数料	862,244	961,258	△ 99,014
支払負担金	5,035,922	5,211,867	△ 175,945
支払助成金	55,000	105,000	△ 50,000
委託費	4,640,154	2,777,274	1,862,880
雑費	34,192	70,402	△ 36,210
経常費用計	813,251,509	836,351,147	△ 23,099,638
評価損益等調整前当期経常増減額	17,858,641	1,236,454	16,622,187
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	17,858,641	1,236,454	16,622,187
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	3	△ 2
経常外費用計	1	3	△ 2
当期経常外増減額	△ 1	△ 3	2
当期一般正味財産増減額	17,858,640	1,236,451	16,622,189
一般正味財産期首残高	2,035,584,033	2,034,347,582	1,236,451
一般正味財産期末残高	2,053,442,673	2,035,584,033	17,858,640
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,053,442,673	2,035,584,033	17,858,640

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	1,109,544
普通預金			334,560,173
共通・新会費横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	108,188,020
公益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	53,622,305
公益・受講料	横浜銀行開内支店	運転資金として	2,562,593
公益・三井住友	三井住友銀行横浜中央支店	運転資金として	33,965
公益・横浜フェスティバル	横浜銀行県庁支店	運転資金として	150,000
収益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	23,264,536
収益・三菱東京	三菱東京UFJ銀行横浜中央支店	運転資金として	10,044,469
法人・横浜開内	横浜銀行開内支店	運転資金として	71,934,958
法人・医師信組	神奈川県医師信用組合本店	運転資金として	535,865
かがやきST	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	11,879,327
かがやき小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	422,470
かがやき居宅	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	6,078,911
あかしあST	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	9,895,549
あかしあ小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	318,775
おおいそST	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	9,574,681
おおいそ小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	275,337
おおいそ居宅	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	6,102,527
洋光台ST	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	19,510,433
洋光台小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	165,452
定期預金			305,777,316
公益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	91,930,526
収益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	26,104,967
収益・三菱東京	三菱東京UFJ銀行横浜中央支店	運転資金として	50,691,835
法人・横浜開内	横浜銀行開内支店	運転資金として	122,892,176
法人・医師信組	神奈川県医師信用組合本店	運転資金として	14,157,812
未収金		訪問看護療養費、県・市受託金等	90,854,181
前払金		家賃、駐車場代、会場予約金等	4,856,086
立替金		日本看護協会通常総会経費等	76,448
流動資産合計			737,233,748
(固定資産)			
基本財産			
土地	横浜市中区富士見町3番地1 (地積246.57㎡) (地積158.29㎡)	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (70,110,127円) 収益事業等の用に供している (17,887,334円) 管理運営の用に供している (14,803,312円)	102,800,773
建物			
建物(一般)	神奈川県総合医療会館 (5階の一部及び6階)	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (249,137,298円) 収益事業等の用に供している (83,045,766円) 管理運営の用に供している (55,881,262円)	394,971,693
建物附属設備		公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	388,064,326
造作	清康社ビル研修室 あかしあ訪問看護ステーション 洋光台訪問看護ステーション 洋光台訪問看護ステーション	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	5,873,925
特定資産			
役員退職慰労引当資産	横浜銀行県庁支店		8,478,800
退職給付引当資産	横浜銀行県庁支店		91,129,049
資産取得積立資産		研修センター取得に備えたもの (公益目的資産取得資金)	762,587,808
建物建替積立資産	神奈川県債 横浜銀行県庁支店		530,000,000
	神奈川県債		232,587,808
	神奈川県債		294,695,215
		公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (109,140,000円) 収益事業等の用に供している (36,380,000円) 管理運営の用に供している (24,480,000円)	170,000,000
	横浜銀行県庁支店	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (80,455,531円) 収益事業等の用に供している (26,444,339円) 管理運営の用に供している (17,795,345円)	124,695,215

# 神奈川県看護協会ホームページリニューアル&研修申込サイトをオープンしました!

令和3(2021)年4月からホームページが新しくなりました。

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定資産			
車両運搬具	訪問看護ステーション	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	3
什器備品	訪問看護ステーション、事務所付帯設備一式	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (297,783円)	1,858,396
ソフトウェア	県総合医療会館6階事務室	管理運営の用に供している (1,560,613円)	6,324,480
敷金	訪問看護ステーション、コルニッシュ横浜	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している (1,577,200円)	1,702,200
保証金	清康社ビル、訪問看護ステーション	管理運営の用に供している (125,000円)	5,622,702
固定資産合計			1,670,171,119
資産合計			2,407,404,867
(流動負債)			
未払金	公益目的事業会計 収益事業等会計 法人会計	居宅介護費用振替額等 (17,637,023円) 弔慰金等 (14,345円) 令和元年度退職手当等 (12,476,405円)	30,127,773
前受金			205,203,000
次年度会費		公益目的事業及び管理運営の支出に供する会費の前受	205,053,000
次年度協賛金	かながわ看護フェスティバル協賛金	公益目的事業に計上する協賛金の前受	150,000
預り金			4,182,572
健康保険料	令和3年3月分		159,164
厚生年金保険料	"		247,050
源泉所得税	"		749,720
市・県民税	"		1,938,600
会費	返金用		880,000
報償費等所得税	令和3年3月講師報償税		66,872
交通費当	日本看護協会主催会議 会費送金等		4,620
その他			136,546
役員賞与引当金			1,219,000
事業費	令和2年度負担額		886,000
管理費	"		333,000
賞与引当金			13,622,000
事業費	令和2年度負担額		13,167,000
管理費	"		455,000
流動負債合計			254,354,345
(固定負債)			
役員退職慰労引当金	期末退職給付要支給額		8,478,800
退職給付引当金	"		91,129,049
固定負債合計			99,607,849
負債合計			353,962,194
正味財産			2,053,442,673

## 公益社団法人 神奈川県看護協会キャラクター

### 名前の由来

神奈川県看護協会の理念より一文字ずつとりました。  
めいちゃん (生命)、りつくん (自律)、ジョーさん (情熱)



新人ジョーさんは、先輩看護師のめいちゃん、りつくんがサポートして一人前のカモメになるよう、ナースの育成をテーマにしたキャラクターです。

**トップページに「アクセス」「よくあるご質問」「お問合せ」フォームを設置**

**「研修申込」はこちら!**

**「入会案内・変更手続」「研修案内・検索」ワンクリックで該当のページを表示**

**「会員数」を掲載 (毎月更新)**

**「新着情報」をカテゴリー別に色分け**

**見やすい!**

**「目的で探す」「クイックリンク」のバナーを設置**  
知りたい情報のページへ素早く移動!

**質問がしやすい!**

**目的のページが探しやすい**  
グローバルメニュー  
クリックで、  
詳細メニューが  
プルダウン表示

**探しやすい!**



# こんにちは事務局です

TEL. 045-263-2901 FAX. 045-263-2905

## 令和3(2021)年度入会・継続手続き受付中!

### ■変更手続きについて

所属施設・自宅住所等の変更がある方は必ず県協会までご連絡ください。変更の届けがないと、次年度の継続のお知らせが届かない場合があります。

### ■コンビニ・銀行の払込用紙をお持ちの方

早急にご納入ください。用紙を紛失された方は県協会までご連絡ください。

### ■納入方法の変更について

令和4(2022)年度分より会費納入方法の変更をする場合は、早急に県協会までご連絡ください。また、現在の納入方法から口座振替に変更される方は手続き完了まで1か月以上かかりますので、余裕をもって手続きください。

### ■キャリアナースについて

研修受講履歴の管理ができるようになりました。会員情報の確認・変更もできますので、ぜひご登録ください。

問合せ/総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

## 保健師職能委員会

日時/①10月1日(金) ②12月17日(金) 各14時~

場所/神奈川県総合医療会館7階講堂

内容/①ひきこもりの理解~「こもりびと」の気持ち・親の気持ち~  
②ひきこもりの支援~「こもりびと」を支える支援者の役割~

講師/白梅学園大学 子ども学部子ども学科

教授 長谷川 俊雄 氏 (社会福祉士、精神保健福祉士)

対象/保健師・看護職等

受講料/1,000円(当該年度会員:無料)

問合せ/総務課総務班 ☎045-263-2914

## 助産師職能委員会

日時/11月19日(金)

場所/神奈川県看護協会 第1研修室

テーマ/[思春期の性教育](仮)

講師/子育てサポートハウス marimo 助産院

代表理事 中島 清美氏

対象/看護職

参加費/1,000円(会員:無料)

応募期間/8月末~9月末

問合せ/助産師職能委員会担当 ☎045-263-2918

表紙の  
写真



## 開かれた看護協会を 目指して

—公益社団法人神奈川県看護協会  
(横浜市中区)

1985年10月に日本看護協会神奈川県支部から社団法人神奈川県看護協会となり、2012年には公益社団法人を取得し名実ともに自立した組織になりました。当初13,000人であった会員も38,000人と大きな成長を遂げています。協会運営には会員の皆さま一人ひとりの力が結集し現在の力強い看護協会が形づくられています。看護だよりは36年の時を刻み200号の発刊に至りました。看護だよりが唯一の広報手段であった時代から今日まで休むことなく発刊し続けてきました。広報・出版委員会を中心に会員、医療関係職種の方々の協力によって看護だよりは成り立っています。看護協会はこれから会員と共に歩むオープンでフラットな組織を旨として取り組んでまいります。

前専務理事 渡邊 二治子

## かながわ訪問看護フェスティバル

日時/10月23日(土) 13:00~16:00

場所/神奈川県総合医療会館7階 講堂

内容/①講演会

テーマ:「住み慣れた地域でよりよく生きる」

講師:佐々 涼子氏(ノンフィクション作家)

②訪問看護師による健康チェック・介護相談 等

参加費/無料

## 精神科訪問看護基本療養費算定要件研修

日時/11月6日(土)・13日(土)・12月4日(土)

全3日間 9:20~17:00

対象/県内で訪問看護に従事している方、看護職、  
会員優先

定員/50名

応募期間/8月末~9月9日(木)

受講料/24,000円(会員12,000円)(3日間)

## 訪問看護入門研修

訪問看護に興味のある看護職を対象に、講義や実習を通して訪問看護の基礎を学びます。

日程/①11月10日(水)・11日(木)

②12月1日(水)・2日(木)

場所/神奈川県看護協会 第1研修室(各回)

実習先/県内の訪問看護ステーション

定員/各回30名

受講料/無料

## 重度重複障がい児者看護研修

日時/11月20日(土)

場所/県ナースセンター研修室

定員/60名(午前30名 午後30名)

応募期間/8月末から9月中旬

受講料/無料

## 介護保険施設等看護研修Ⅲ (管理者レベル)【オンライン研修】

日時/12月2日(木)・9日(木)・18日(土)

全3日間 9:30~16:30

対象/県内の介護保険施設に勤務する管理的立場の  
看護職

内容/介護保険施設の看護管理者の役割と責務 等

定員/50名

応募期間/9月末~11月中旬

受講料/4,500円(3日間)

問合せ/地域看護課 ☎045-263-2933

## 編集後記

今回の表紙は、200号を記念して神奈川県看護協会を掲載しました。今後も様々な病院・施設を紹介していきます。「私の職場を紹介して!!」「まだ紹介されてないよ」という病院・施設の方々、自薦・他薦は問いませんので、是非お知らせください!! (Y.M)

問合せ/総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918